

「防犯建物部品」 グレモン錠取付説明書

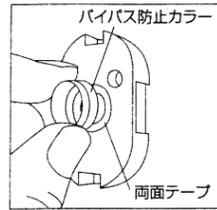
MI-1339

取説番号 838RB100

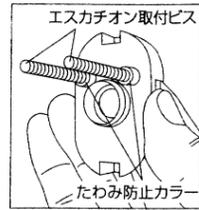
カマデッドが引っ込んだ状態（解錠状態）で取り付けてください。
サムターンはサムターン鍵穴を縦向きにした状態で取り付けてください。

1. シリンダー、サムターンを取り付けてください。（上下共通）

- 扉外側よりシリンダーをケースに差し込んでください。
- 扉内側より取付ビス（M4×25 特バインド）にて固定してください。
- エスカチオンに両面テープを貼り、パイパス防止カラーを取付けてください。（図-1）※締め付けすぎないように注意してください。
- エスカチオンにエスカチオン取付ビス（M4×35）を通し、たわみ防止カラーをはめ込みます。（図-2）



(図-1)



(図-2)

- 扉内側よりエスカチオン取付ビス（M4×35）で固定してください。
- ※締め付けすぎないように注意してください。
- ケースを解錠状態にしたままサムターンインジケータを横向きにし、エスカチオンにサムターンを差し込み、付属のビス（M3×6 ナベタッピング 2種 頭部黒色塗装）で固定してください。
- ※必ず上下2本で固定してください。

2. 長座を取り付けてください。（上下共通）

- 扉外側にケショウリングの付いている外長座の取付柱を穴へ差し込み、扉内側へ内長座をはめ込み取付ビス（M5×15 ナベ）で締め付けて固定してください。
- ※締め付けすぎないように注意してください。

3. ハンドルザを取り付けてください。

- 扉外側より、外側ハンドルザをケースにさし込み、扉内側より内側ハンドルザウライタと内側ハンドルザを取付ビス（M3×16 トラス）にて取り付けてください。

4. ハンドルを取り付けてください。

- 扉外側より、外側ハンドルをケースの角穴に合わせてさし込み、扉内側より内側ハンドルを挿入し、セットビスにて固定してください。

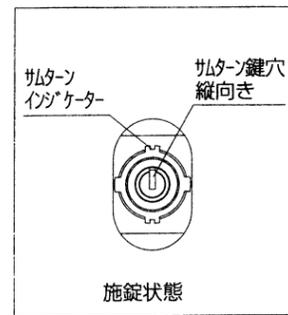
5. 取り付け後ハンドル操作確認、施錠確認を以下の【作動確認】に従って行ってください。

【作動確認】

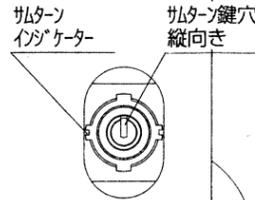
- ①ハンドルを上向きに操作しカマデッドを突出状態にしてください。
- ②サムターンインジケータを横向きから縦向きに戸先側に向かって回転させてください。（※1 施錠状態）
- ※1 施錠状態：本製品はハンドルを上向きに操作しカマデッドを突出させサムターンインジケータ又は鍵を回転させることで施錠状態になります。カマデッドを突出させただけでは外側ハンドル操作によるカマデッドを引っ込めることができ施錠状態ではありませんので御注意ください。
- ③施錠状態からサムターンインジケータを反対に回転させ横向きに戻してください。（上下共）
- ④ハンドルを下向きに操作しカマデッドを引っ込んだ状態にしてください。（解錠状態）
- ⑤扉外側から同様にハンドルを上向きに操作し鍵回転により施錠状態になることを確認してください。
- ⑥解錠状態（カマデッドは引っ込んだ状態）でハンドルを下向きに操作しラッチが引っ込むことを確認してください。

【サムターンについて】

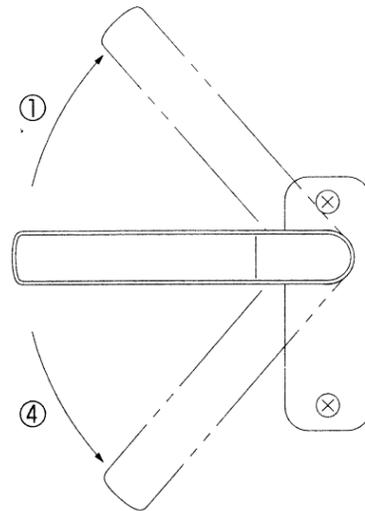
サムターンは付属の鍵を使用してサムターン鍵穴を横向きにする事でサムターンインジケータが空転する仕様になっています。その状態では扉内側から施錠できませんので、防犯機能として必要時に御使用ください。



施錠状態



解錠状態



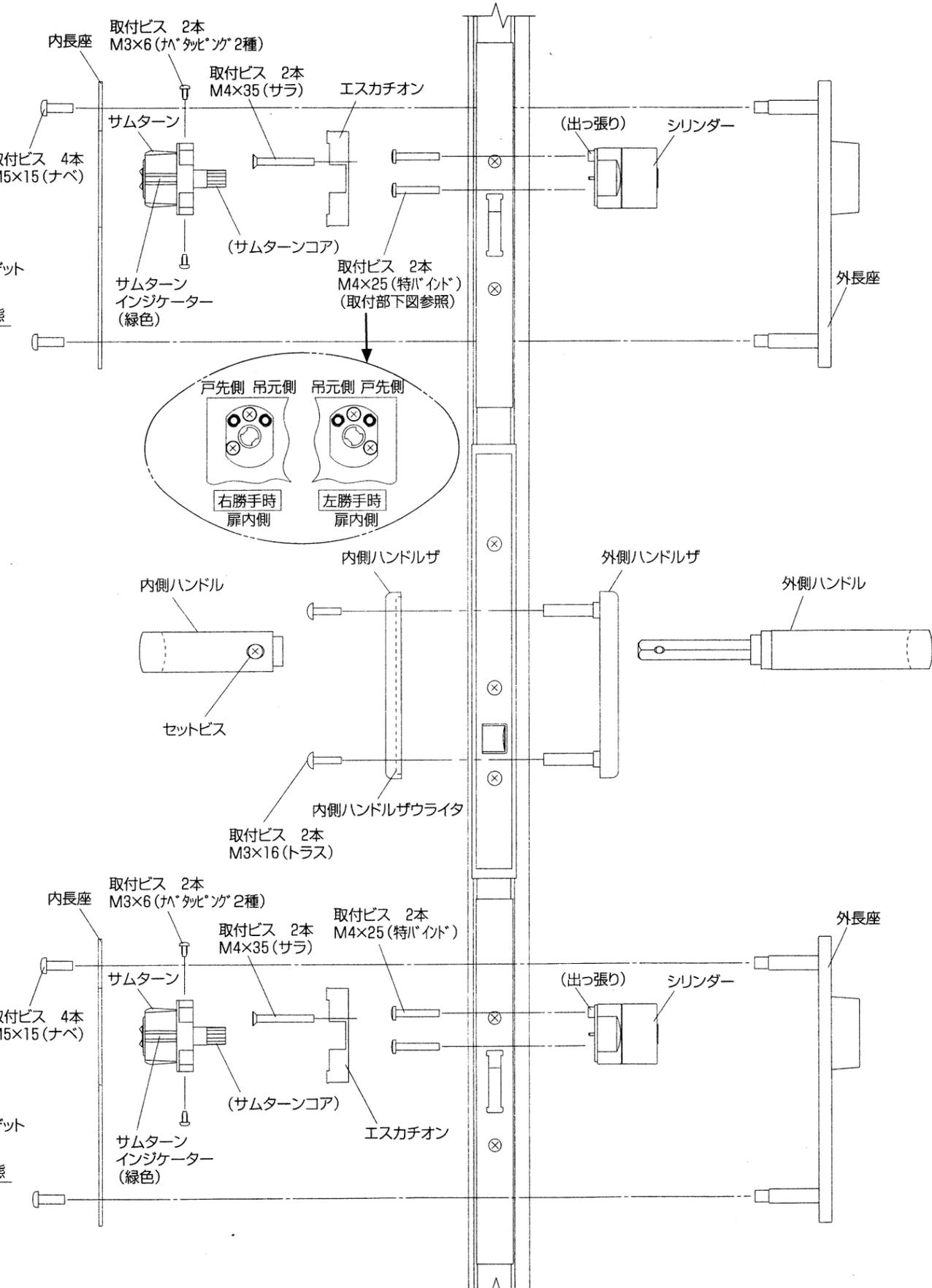
①

④

ラッチ

カマデッド

突出状態



本図は右勝手を示す